

恋は、世界を壊してしまう、秘密

岡本 悠

女の愛は、幻である

ひそやかに、

また、滑稽に

男の心をいたぶる

それでいて、

男の愛を成就できないとなると

無防備な愛を振りまく

美人が勝てない愛は、

ブスの愛の

凶太さではなく

美人がもつ、

プライド以外にはない

少年は、先生を愛しても

相手にされない

神が、女に

愛をささやけば

満身創痍で

受け取るのに

男たちは、

酒やタバコを吸い

激烈な愛を求めない

将棋や囲碁の男でも

プリンスはいつも、

真顔だ

大谷翔平や、羽生結弦がいい

甘いからだ

さして、男には、

女の身体を

まるで、昆虫を舐めるように

欲しがるが

それが、女にとって

どれだけ、不気味かはわからない

さりとして、

昔から、

愛に生きるとは、

お通さんもそうであったように

一途

広末涼子が浮気に走ろうが

コアラの子供のように

おぞましく

抱きつくだけだ

付き添いで

愛した

無限の

光には、

グレムリンのような

シンパシーがあるが、

外人を欲しがる者は

臆病者でしかない

男が、カフェテリアの女か

フィリピンの女で迷ったら

カフェテリアの女を選ぶのが、

勇者だ

それは、自分を克服することになるから

愛とは、

自分の成長の為にするのだ

安定の受け皿にあるのは

退屈だ

乗り越えようとしなない男は

勇者ではない

男が仕事で迷ったら

神に相談するといひ

必ず、答えをくれる

LET IT BE

あるがまま

女子高生は、

わがままな恋をする

私は、彼氏が欲しいです

それは、本気ではない

本気なら、もういる

自信も、本気度もないのだ

クラリスにとっての、

淋しい熱帯魚

とは、

ウィンクのカバーであるが、

女の実体は、

昭和も平成も令和も

壊した

ただ、アイデアとしては、

最悪である

通りすぎる女にとって

男とは

実は、獲物ではない

恐怖だ

さがりのついた獣のように

嘔みついてこないかを

いつも、心配している

ジュゲム博士によれば

この世界は

恋愛ゲームが、

下手くそな

人間の集まりだ

視線ということにおいても

イタリアの女性は

男を見抜けるのに、

日本の女性は、

男を見抜けない

しからば

絶望のように感じて

しっかりと、

南米の男に辿り着く

これも逃げである

浜崎あゆみを愛する女性とは

つまり、保証が欲しい

いわゆる、

強さのようなものが欲しい

寅になりたいのだ

ポパイは、

もう、

ほうれん草を食べていないが

肉食動物を

愛してもいない

つまり、

浜崎にある未来は

平坦である

では、歳老いる平坦を

いかに、壊せばいいか？

それは、夢を持つことではない

神に、LET IT BE

である

この法則さえ知っていれば

何も、心配はいらない

じゃあ、浜崎の平坦とは何か？

実は、

浜崎が、気づくことであればいい

つまり、ほうっておけばいい

バレンタインデーとは何か？

聖者は言う

女が男に告白する日と

しかし、職場に行っても

チョコレートを渡されない

ある者は言う

「面倒だ」

そんなものである

無論、

そう ばかりではないが、

アルプスのハイジにとって、

結婚とは、

すなわち

愛だった

カタストロフィー

すなわち、大詰めの

愛は

失っても

愛せる強さだ

星野仙一が、そうだったように

野村克也が、そうだったように

イチローは、結婚はギャンブルだと言った

あながち、間違っていないが

ギャンブルという言葉には

すべてを懸けるという意味でもあるから

その意味で言えば

絶対に、成功しなければ

ただの、賭け事にすぎない

女にとっての結婚は

ギャンブルではない

だから、女は頷いていなかった

パリ・サンジェルマンのメッシにおいて

女とは、

もう、

ただの

乗り物だった

厳密に言うと

うるさいだけだ

工藤静香と木村拓哉には、

子供がいるが、

そこに

違和感がないのは

もう、それでいて、

当たり前だからである

木村は平気な顔をしているように見えて

「スマップが、一番、大変だった」

というようなことを語ったが

そこに、真実しか見えない

福山雅治においても

結婚とは、

「はつ恋」の歌にあるようなものだろうか？

それならば、世の男は、いくらばか救われる

ことはない

「はつ恋」で、福山がシーツを

もがき苦しむ時、

そこにある

頂を感じるのは、

男だろう

真顔で、愛を謳うのが

フィル・コリンズならば、

おちゃらけて、浅草キッドを歌うのは

ビートたけしだ

お笑いには、あまり、関知しないが、

ピエロである

浅間山荘事件を逮捕したのは、

男であるが、

女がいた、

この前の人質事件では、

カメラの前で、笑っていた

これは、ゆとり、である

女とは、こういう時、

非常に、愉快的な立場に置かれる

愛されるからである

モヒカン刈りのベッカムでさえ

ビクトリア夫人には

愛を持って、接する

彼の場合、見栄ではない

すべてがエレガントであり

成功者である

あのレッドカード以外は

...

あれにさえ、意味をもたすなら

もう、どうでもいいじゃないか

プライドの欠片もない

愛の唄は

どうやっても

響かない

真似事を繰り返したメロディーには

後ろめたさがあり

それは、本物とは言えない

ただ、宇多田ヒカルが

Never Let Go

を歌う時

Shape of My Heart

の、メロディーが使われているのは、

ごく自然なんてことは、

誰もが言う

戯言だ

そんなことよりも、

一番いけないのは、

無意識ではない、真似であり

発覚した時点で

狩人しなければならない

それが、ほんとうの音楽家の、道である

さすれば、自分の曲をパクったら犯罪か？

これは、愚かである

ピクニックには、

女の先生が先頭を歩く

幼児たちは、それに甘える

キツツキを、噛み殺すような

敵が来ても

先生は、逃げてはいけない

教育番組で

かわいらしい歌の先生が

これでもかというくらい

ダサイ言葉を喋るが

そこに、女を見る時、

人は死ぬ

じゃあ、どう見るべきか？

女として見てもいいが、

横のカマキリのような男の先生が

これまた、ガードする

行き場なし

こうして、淡い恋は終わるのである

大阪の女はどうか？

パレードに、

大阪出身のアイドルが来た

大阪弁でトークしている

えてして、

歌も普通だが、

客席に降りた時の、

真顔を見た時、

一気に、吸い込まれる

それは、あいみょん、よりも美人であり

日向坂 46 にはない、味がある

もう、1人の逞しい女

優しい女とは、

実は、えてして、毒である

カフェテリアの女性にも

フィリピンパブのママにも

凶暴性はあった

カフェテリアの女性は

客の視線など気にせず

注意している

これは、自然である

フィリピンパブのママの注意は、

端に、その女性が嫌いなのだろうが

それも、自然である

一番、危険なのは

キレナイ女のほうである

萎縮している場合もあるが

自信もない

穩便に済ます

それが、いいことだと思っている

そんなはずはない

なんのための人間だ

イチローにとって

一番、厄介な質問は、

子供のことを聴かれることだと思うだろう

しかし、そうではない

彼は、愛犬、一弓をもってして

すさまじい人生経験をした

それで、お腹いっぱいのはずだ

エルトン・ジョンにとって

ユア・ソングとは、

恋人への歌であるが、

目が、青か緑か、

そんなことも忘れてしまった...

色彩の多い、

村上春樹にとって、

小説とは、

多岐に渡る

もう、言葉の種類も豊富にあり

翻訳などもしているとなれば

当たり前かもしれない

さしあたって、

恋に落ちるとは

どういう状態かというと

その人の内実性に踏み込むということだ

よって、

どんなに自分では、

恋をしていないとあがいても

その人を意識してしまう以上

それは、恋をしているのである

つまり、私は、

カフェテリアの女性に

恋をしているのである

じゃあ、他の気になる女性はどうか？

山ほどいる

KFC も、スーパーも、ドラッグストアも、ファミレスも、…

数え上げたらきりが無い

でも、これも恋である

つまり、意識するとは、恋である

簡単に言えば

弁当屋さんの、おばさんがなんともないなら

それは、恋をしていない

あの雑誌の女の子がかわいすぎて

チラつく

それは、恋である

つまるところ、

神が言いたいのは、

その恋から

逃げるな、

という、

姿勢である

そんなことを言ったら身体がもたないなんて言い訳はどうでもいい

戦うことである

そうしないと

生まれてきた意味がない

恥をかいて、笑われればいいじゃないか

緊張して、お盆を持つ手が震えればいいじゃないか

そんなに歌が好きならば

ステージで歌えばいいじゃないか

かいて、恥かけよ

だ

ミシェルにとって、

男から、肌を触られることは

滅多にない

ママはからかった

安定に逃げた時、

人は歳を取っていくが、

ゆとり、が、なければ

花は咲かないのである

さすれば、カフェテリアの女性を振り向かせたいなら、

どんな努力が必要か？

それは、緊張とともに死ぬことである

絶対の、失敗の中で、右往左往するしかない

そこに、蕾ができる

もう、逃げられないのである

そこから、言葉が生まれ

小説が生まれ

音楽が生まれる

安定に、歌は無意味である

ネネにとって、ラルク・アン・シエルとは、

ただの、呪いである

自分に何もないから、

追いかけているだけである

暴走族とは、

怖いように見えて

実は、真摯である

もっと、怖いのは、

乱暴に、狂う人間のゲノムの問題である

私も、神にゲノムを操られたアブナイ人間であるが、

神も、そこまで馬鹿ではない

人間には、許容範囲がある

さすれば、

タクシーの新人の女運転手は、

かなりのバリケードがあっても

私に警戒した

シートベルトを剥がしただけで

慌てていた

「着くまで、シートベルトをしてください」

と言う

こんな時、無神経に声をかけるオヤジのことなど、どうでもいいが、

私は、ずっと黙っていた

最後に「じゃあ、これからも頑張って、ありがとう」とだけ言った

これも、1つの恋物語であった

スポーツ選手を愛する時、

真を愛すればいい

神が、結婚を勧めない理由には、

2つのヒントがある

そこから、逃げようとするか？

それでも、立ち向かおうとするか？

そこを見たいだけだ

浜田省吾の「マネー」には、

最高の女と、ベッドでドンペリニヨン

とある

これが、快樂の最高地点ではないが

これこそが、男が求めるべき姿勢である

骨のない時代である

私には、最高に好きな女が見えている

だから、毎日、会いにいけばいい

嫌われてもいい

最後をもらえば、それで最高だ

無論、結婚しているかもしれない

せめて、そうとわかるまでは、

追いかけてみたいものである

メシアはいたか？

メシアとは、救世主であるが、

それは、もう、ほんとうに、結局のところ

神である

辞書にも、キリストと、書いてある

愉快的誘拐犯たちは

DX に化けて、

ステファニー・マクマホン・レベックを拉致した

プロレスラーの筋肉とは、

ほとんどが、マガイモノであるが、

それを、もう、

わがもの顔で、誇示する姿は

みにくいアヒルの子

神の言う、筋トレが必要ないとは何か？

それは、微分積分の問題ではなくて、

夢中になれるものがあるのに、やめてまで、

筋トレをする必要はない

という意味だ

なぜなら、それは、健康だからである

私が、小説を書くのに夢中ならば

筋トレはいらないという意味だ

それでも、身体が欲しがらば

筋トレをすればいい

神は、今日の最後にこんなことを言う

明日、カフェテリアの女性にアタックしてみろよ

まるで、ザ・ビートルズのヘイ・ジュードである

買い物袋をぶら下げてでも、会いに行く

そのダササがまたカッコイイ

汚い420円の小銭が、またカッコイイ

誠実とは、なんて孤独な言葉だろう

ビリー・ジョエルの「オネステイ」が叫ぶ

道は照らされた、行け

犬を愛する、

人にとって

癒しとは、

羽衣である

癒しとは、

女全体であり

エチュードとは、

調べだ

確率の問題で言えば

ゲットすることは、

難しいとしても

そこに、1つの愛が存在するのならば

立ち向かうべし

勇者である

童歌は、

曖昧なことを

省いた

今の、ポップミュージックが

これでもかと、

しつこい理論を並べるが

詰まるどころ

ザ・ビートルズのほうが

賢い

エド・シーランに

同じような細工もあったが

及ばず

結局、いつも勝つのは

昔である

それにおいて

新しいものを愛するのは

流行に乗り遅れないようにする

試みもあるだろうが

流れである

ひとところに、

ビートルズだけに、

収まっていたは

退屈だからである

西野カナを愛する女性とは

古今東西

愛しのエリーである

つまり、

恋する女たちである

恋愛包囲網の中にあって

一番、危惧したいのは

ゆとり、を、なくすことである

そのストレスのある状態では

人を愛せない

どうすればいいか？

リラックスすることである

銀座の女にとって

最高の勲章とは

ステータスである

それは、大事なことであるが

無論、

そんなものは、

ハナクソ同然でもあるから

ほんとうのことは

必ずや、銀座にはない

そこに、集うママは優秀でも

どこかに、欠点はある場合がある

ならば、よっぽど

腐った街のママのほうが

賢い場合もある

金とは、悪魔でもあるが、

あながち、

銀座で、そういう遊びをしたことのない

私には、よくわからないが

美だけで言えば、

最高峰ではある

道行く人すべてが、

美のオンパレード

退屈になるくらい

贅沢である

空手の型とは

愛の型である

ゆるされるのは、

空間を制すること

時間も、

間隔も、

ベルサーチで、

身を包んでも

所詮は中身なのではあるが、

まあ、窮屈なことを承知で言えば

服なんか、適当に買ったほうがオシャレである

カズや新庄のような人間は

黙っていても、似合ってしまうのだから

自分は、自分で、いいのだ

恋人探しのプロとは何か？

神は、指し示す

まず、全部当たってみると

神は、甘くない

夕焼けに、しなだれて

甘い蜜を、吸って生きたいなら

それでもいいが、

恋という羅針盤は

逃げる者を、切り捨てるのである

戦って、戦って、勝つのである

ナンパは悪か？

ナンパとは、

勇気がいるものであるが、

最低限の礼儀がいる

それは、くじけない自信があるか？

でも、神は、ナンパというものを勧めない

これは、定義から外れるやり方だからだ

定義とは、モノサシ

つまり、概念である

ナンパで、ひっかけても

長続きはしない

愛とは、もっと深いところにある

TUBE が、一夏の恋を経験するように、

サザンオールスターズが、エボシ岩を見つめるように

小川直也が、STO を決めるように、

ハッキリと、していなくてはいけない

ナンパは、勇者とは違うのだ

救われたと思うだろう？

それで、いいのだ

告白のタイミングとは、

もう、その時に決めればよい

用意周到なんてすると、

ぎこちないものになる

だけど、

私は、用意周到して、

告白もした

フラレタが、

その経験も、

俺を、勇者へと近づけた

勇者の果てとは何か？

死んでしまっても、

その、刻印は残るのだ

それが、レガシーであり

遺産である

ボブ・オートン、ジュニアなのである

韓国ドラマの男たちが

愛に逞しいのは

きっと、

愛のある国ではないからであろう

日本の、令和像の男は、

例えば、付き合ったことがないとか

デートしたことがない

の、オンパレードだが

原因は、男・女というよりも

えてしてなったのだろう

あいみょん、が「双葉」を、歌う時

皆、泣いている

何に泣いているのか？

生きていることが、わけがわからないのかもしれない

昔より、もっと難解になっている

スマホしかり、マイナンバーカードしかり、

わけのわからないものが、増えた

顔写真は、加工されて

ブスが、ニセモノのブスになって

喜んでいる

殺人事件で、殺された女性の写真でさえ

加工された写真が、使われているありさま

プロレスに、マスクマンはいるが、

歌手にも、続々とマスクマンが繁殖している

サングラスをかける男というのは、

一概には言いきれないが

臆病な場合が多い

特に、黒いサングラスをかけている男は

コロナが一段落して

岸田首相の号令とともに

白いマスクをとった、男女は

勇者である

男は勇者、女は何を目指すか？ だが、

乙女だ

相川七瀬が、愛されるのは

カッコイイからではあるが

そこに、愛らしさがあるからである

ビジュアル系バンドを追う女とは、

総じて、魅力がない

富永愛は、好きな歌手を長渕剛と云った際

相手にされなかった

しかし、そこに嘘はない

だから、富永には、底知れぬ魅力があるのだろう

私は、スターダムにおいて

ジュリアと舞華なら、ジュリアを恋人にしたいと言った

神も、同意した

男には、女が必要か？

実は、男には、女は、本来、いらぬのだ

1人で生きていけるからである

そこが、女神、つまり、女とは、違うところだ

じゃあ、なぜ、この世に女が生まれたかだが、

女というのは、

実は、男の内面であるからだ、

つまり、女の内面は男ではなく

外傷が、男だからである

難解だろう

男には、女が必要なのではなく

女が男を必要とする

このパラドックスには、

男が女の奴隷であり

女は男の運転手であることを意味している

噛み砕いて言えば

男は、馬鹿であり

女は、賢いのだが、

じゃあ、なぜ、男は、女が必要さ、と、長瀬が言うのかというと

甘えたいからではなく

方向がわからないからである

よって、ニールの歌ではないけれど

である

バクチをする女

菅井きん、は、麻雀をしていた

ジョン・レノンの「Love」において、

愛は真実、真実は愛

とあるが、

それは、もう、すべてが正しい

さすれば、

神と愛は、何が違うのか？

神とは、人間を超越した存在であるが

愛とは、神の分身でもある

つまり、人間とは、神であり、愛であるから

Love、つまり、愛とは、あなたである

そして、あなたは、神でもある

神の一部でもあるが

全体と言っても、差し支えない

それが、総和である

女子高生の裸について

女子高生の裸とは、男の憧れである

想うとは？

カフェテリアの、あの子を想う

その時、心がキシキシ痛む

合わないといけないのか

神の命令だ

逆らえない

もし、実行しなければ、何も変わらない

さてよ、今日いないかもしれない

それも困るがしょうがない

このように、馬鹿みたいに想いをめぐらすのが

恋の病であり

この、緊張感の中に生きることこそ、

張りを生むのである

だから、おじいちゃんが、死ぬまで勉強だ、と云ったように

瀬戸内寂聴が、死ぬまで恋愛したい、と云ったのは、ほんとうである

安定なんて言葉は、焼き殺してしまったほうがいい

女の色気

女のくしゃみ、が、聴こえる

セクシーである

ヒコロヒーみたいな顔かもしれないが

もっと、美人かもしれない

ヨーロッパには、

もっと、磯巾着のような

恰幅のいい

女が多いが

えてして、そういう女は醜い

蛙は、歌を歌う時、

ガーツト鳴く

ハーモニーは

合唱団に運ばれて

子供たちは歌う

喜ぶのは客だ

同じように

お金を持っていないのに、

闇雲に

喫茶店に通い続けるのも

道化師

つまり、ピエロである

中身を証明できるなら

いくらでも通う権利が与えられる

いくら、ちゃん が歌う時、

その容姿には

悪気がない

べっぴんさん、ではないが

捨てたものでもない

愛くるしいわけでもないが

まあ、中道である

リサには、牙がある

紅蓮華、炎

まあ、それだけではある

もう少しオーバーに語るなら

なぜ、女は、もっとオーバーできないのか？

時代が求めているのは、その程度なのかもしれない

生優しい男ばかりを求める

鹿島アントラーズの、鈴木優磨のような男は、

まあ、男として、数えられるだろうが、

女には、

多分、鈴木優磨のような女がないだろう

いかんせん、守りに入っている

女の顔というのは、裸である

その、裸をジロジロ見ても

そこまでの犯罪にはならないだろう

性懲りもなく

見つめても

知らぬ存ぜぬ を繰り返す女たち

あとで、影で喋っているかもしれないだけ

男が

おっばい、に、感動する時、

女は、匂いを消す

アタランタの、大女優、ベッカーにしても

乳房をイタズラに見せたりはしない

男が愛をわたす時 女がそれを受け入れる時
もっと大事な事は 互いのつき合いが
一流かどうかで事だろう

長瀬剛の「I love you」である

今の私が、未だに一流でない時
女の一流を求めることはできない

それが、恋の順序である

官能小説において

一番、惨めなのは

女が、

男の想像で遊ばれることである

だから、真実しか書いてはいけないのだが、

いかんせん、この程度のことで

男とは、幼稚であるから

女の気持ちをわかってあげられない

私が、コロナの時期に

風俗の女にキスを迫ったが

断られた

お願いだから

と言っても駄目だった

マスク越しにキスしたが、

そんなものは、何にもならない

でも、その姿勢こそ

女のプライドである

ワシントンD.C.において

アメリカのトップが、

和平交渉をおこなう際

言うてはいけないことは、

断じて、女性軽視だと思われがちだが、

そうではない

もっと、大切なことは、

女の前で、あくび、をしないことである

これは、女が一番、嫌がることだ

ちょっと、リラックスしようか

野際陽子にとって、

冬彦さんとは、

愛ではない

しからば、

冬彦さんを演じる、佐野史郎は、

どうして、そんなにモテナイのか？

それは、

女の敏感な、マザコン愛を

感じるからだが、

そんなことよりも、

女は、ママよりも、

私を愛してほしいのだ

私が冗談で、彼女に

ママ〜と云った時

最悪！

と、言われた

これは、もう、正しすぎる女性の感覚だ

女が欲しいのは、

男のカッコ良さよりも前に、

愛されたいのだから、

男は、好きな女性を

思う存分、愛すればいいのだ

言ってしまうば

嫌われていても、

愛する権利は、男にはある

まあ、それは、成就しないにしても

女の本心は、嬉しいものだ

しからば、

男の女の愛し方とは、

自由であり、

バーリトゥードであることを

ここに、宣言する

責任は、自分が取ればいいだけだ

経験した男というのは、

もう、そこが怖くなくなる

ある者にとっては

少年院は恐怖かもしれないが

朝倉未来にとって、

少年院などハナクソである

私にとって、

精神病院とは、軽いものだが

少年にとっては

恐怖かもしれない

しかし、私にとって、

ホームレスは恐怖であるが、

ホームレス経験者にとって、

そこは、恐怖ではない

そんなパラドックスに当てはめれば

怖いものは、さほどこの世にはないのである

本田圭佑や堂安律のような男

かれらは、見ていて、カッコ良い

もちろん、努力もしているだろうが、

生き方が巧みであるが、巧みでもない部分もある

その、いじらしさが、

彼らを、カリスマ化させている

彼らは、どん底までは落ちないなにかを持っている

強さ

ハングリー精神というよりも先に

自分に厳しい

果てしない、旅の途中で、

突然、抱きしめられても

それを、振り払うだけの余裕がある

自分作りが巧いのだ

彼らには、それほどの悲壮感がない

アブラカタブラ

陽気な国の男とは、

例えば、中南米の男や

アフリカの男などを

想像するかもしれない

かたどって、

そういう男の背後には、

陽気な妻がいる

プラスとプラスというのは、混ざり合うが

マイナスとマイナスは、混ざらない

これが、原理である

えてして、この世の中は

プラスがすべてになればいいのかというと

そうでもある

マイナスだけは、まず、成り立たない

神という立場で言えば、

ニュートラルだから、

プラスでも、マイナスでもない

その、とらば一ゆ、を感じるなら

いっそのこと、神に尋ねてみればいい

どうすればいいか？ と、

答えは、静かに与えられる

クロマティーと、シロマティー

クロマティーは、黒いからクロマティーではない

夫婦喧嘩を止められない理由は2つある

1つは、自分の主張をしてしまうから

2つは、聴いていないから

である

努めて、喋りすぎる男には、花道はない

女のほうが喋りたいのだから

とにかく真剣に聞けばいい

もう、口が止まらない男というのは、モテナイ

とにかく、女の話聴きなさい

ブッカーTにあつて、ジェフ・ジャレットにないものとは、

2人の陽気さが、あまりにも、多様であることで

生まれついたものと、身についたものの

誤差というくらいである

JJ がスペルを奏でる時、

ブッカーTは、ハーレムサイドキックをしている

ブッカーTが、黒人的に悲しむ時

ダブルJは、白人的に笑う

でも、2人の息はびったりなのである

WWEにないものは、AEWが持っているが、

それでも、やはり、ジャレットという存在が楽しいのは、

もう、言うまでもない何かであろう

日本のプロレスにも、こんな人材がいたらいいが、

武藤敬司でもないし、内藤哲也でもないのである

しからば、どんな男になるべきか？

一言で言えば、男になればいい

俗に言う、勇者でもあり

金に困らない男だ

それを、グダグダとここで書くことはないが、

1つだけ、誰にでもできることと言えば

勇気を持って、生きるということである

屍のように、生きてはいけない

それは、金がかかろうが、

屍のように、生きるよりはマシだ

親への説得が必要なら、

神は協力するし、

出版社への希望があれば

神は、全面協力する

勇者とは、俗に言う

戦い続けるという意味ではない

さばく時はさばき、

行く時は行く、

その作法を心得た者だけが、

真の勇者になれる

痴漢と女

痴漢は、スリルである

また、そんなことを言っつと、

声がする

神にはわかるが、

私には、経験がない

さすれば、なぜ、痴漢は犯罪なのか？

男は言う

「痴漢はしたいが、できない」と、

欲望は、果てしない

レイプもできない

その、自制心は、素晴らしい

まあ、見つかった時の恐怖もあるだろう

女を守るための防犯カメラは、

もう、中国にとどまらず

日本でも、当たり前になった

こんな監視社会では、息ができないと

皆、叫んでいるのに

では、どうしたらいいか？

アフリカに、逃げるか？

無理だ

女中心の文化になって、

危惧されることは、

守りばかりの文化になることである

そこには、面白みもないし、

冒険心もない

規律ばかりである

そのうち、女を見つめてはいけない、

なんて、法律ができるかもしれない

ドナルド・トランプは、一切合切を抜けば

楽しい人物だ

ウラジミール・プーチンは、

一切合切を抜けば

宮本武蔵のような、人物である

じゃあ、主は、女か？ 男か？

依然これは、不明ではあるが、

女なら、万能とは、言いきれないことだけは確かである

女を守ろうとする男

私は、女を見るのが趣味だが、

女は、それを嫌がる場合、

男の兵隊を連れてくる

これで、視線をふさがれるのである

そこにあるのは、正義感だろう

女を守るという

事実、そうだから、

もう、諦めているが、

女が本当は、そうは思っていない

見つめて欲しいのだ

私は、図書館で訴えられた

女をジッと見ていたら

セキュリティーを呼びに行った

じゃあ、女は、やはり、見られるのは嫌なんだろう？

そうかもしれないが、

そんなのは、社会の公共の場にふさわしくない

という、理論である

1-1 だったら、どんなに嬉しいことか？

女は、すぐに救いを求める

言いふらす

糾弾する

ただ、そうとわかったら、

適当に、社会と足並みを揃えないといけないだろう

それでも、

女は、見られたいのである

ジャックナイフパワーボム

ビッグセクシーとは、ケビン・ナッシュのことである

グラビアの女とは、

どんなに、美しいものだろう

夕陽よりも、星よりも、宇宙から見た地球よりも

美しい

イメージビデオの女も美しい

アダルトビデオの女も美しい

よって、女とは、

やはり、美しいのである

九十九里浜のオットセイが落下した

その名はイヴである

男が、カフェテリアでコーヒーを飲む時

働く女性は、景色である

スマホや、雑誌を見るよりも

そっちを見ていたほうが、

楽しいではないか

ストリップの女は

男の視線を独り占めにする

なんという贅沢三昧

あなたは、男と女を、区別したがりますね、と来る

そうではあるが、

それが何かと言えば

そういうものだからである

チアガールのような

明るい、愛は、

要りますか？

それはいる

野球部のマネージャーの女の子は、

何の為にいるの？

象徴だ

そして、恋をする為

女というものが

息苦しくなったら

どこへ避難すればいいか？

居心地のいいどこかへ

行けばいい

あなたは、ブスやデブのような、

女ではない女を指していない

それは、駄目ではないか？

だって、汚くなるんだもん

綺麗な女だけに絞ると

息苦しくありませんか？

なる、とは言おう

韓国の女のユニットは

いかんせん、疲れる

美人しかいないから

じゃあ、AKB グループで、

落ち着きましょう、となる

行き場なし

ZARD の、坂井泉水は、永遠に綺麗なままだし

倉木麻衣は、少し歳を取ってきた

ミッツ・マングローブと、マツコ・デラックスは、…

よく、わからない

ジャニーズを愛する女性とは、なにか？

ロマンチストだろう

私を、愛する女性とは、なにか？

エコノミストだろう

私を、虜にする女性とは、なにか？

女神だろう

神による、女の分類

80年代は、小泉今日子

90年代は、今井絵理子

2000年代は、宇多田ヒカル

2010年代は、AKB48

2020年代は、あいみょん

奇抜なファッションは、

ジュゲム博士の見解によれば

ヤマンバが最高だった

鬼束ちひろが、

爆破して～を歌う時、

月光も、インフェクションも、

粉々

あんな人材は、もう出てこないかもしれない

声帯を壊す唄い方をしたのは、

やはり、歌手には多いのだが

じゃあ、なぜ、死んだ尾崎豊にしても

長渕剛にしても

浜田省吾にしても

桑田佳祐でも、ユーミンでも

壊さないのか？

答えは、

まぎれもなく、

神しかない

神と、デスティニー（運命）は、一緒か？

あなたの歩いてきた道は、レールである

神とは、端に、運命にとどまらない

さまざまな、試練を人間に与え続ける

それは、今日かもしれず

明日かもしれず

明後日かもしれず

...

でも、神に関して言えることは、

その、大船

水槽

の中で、

泳ぐ範囲のことしか起きないという安心だ

釈迦の手のひら、

と、人は言う

神を超越するとは、神を裏切ることと云ったが、

私は、このチャレンジに失敗して、恥をかいて

やはり、神の軍門にくだった

神の生け贄として、

生きるのだった

モロッコの天才画家、ジャシー・ジャクソンによると、

この世は、愛で、できていない、と、反論した

この意味は、愛を、殺して生きるのは、どうだ！

という、主張だ

あわよくば、そういう考えもあるが、

仮に、人間を殺して生きるのならば

それ自体が愛だから、却下、

そうなるのであった

くだけで、

恋だろ

より

性別も年齢も 家柄も国籍も 外見も年収も 過去も何もかも全部
関係ないのが恋だろ 乗り越えられんのが恋だろ…

よく見ると、マヌケであり

よく見ると、励ましである

評論家の男

評論家の男には、極めて自分が見えていない

私に、書く才能はゼロである

デーモン閣下は、評論家の才能はあるが、ミュージシャンとしては、不明

野球の解説者は、まあ、一概にどうとも言えないが、

やはり、何が自分の適性なのかを知ったほうが、生きやすい

評論家は、勝手気ままなことを言っただけに、

気をつけないといけないのは、

人を傷つけないことではなくて

きちんと、真実を語ろうとすることである

その責任は、自分が背負う覚悟がいるのである

女子高校生のパンツを欲しいのなら、

女子高校生の家知らなくてはいけない

かといって、犯罪を 犯せるわけでもないから

マンションのベランダに忍び込むこともできない

このパラドックスの中で

欲望を叶えるには、

女子高校生に見合うだけの男になって

つき合って、Hするのが得策だ

そこまでは、かなりの試練だが

やってみない価値はないが、

私はやらないだろう

女子高校生の壁は、はるかに遠い

道は、定時制の学校に通うことかもしれないが

あまり、よく、わからない

アマギウスの法則と、共に言えば

憧れで終わるのも

1つということ

いいかな？

カフェテリアにおいて、

プリンを運ぶ女性は

美しい

あまりに、おいしそうなプリンを

あの綺麗な女の子が運ぶから

どっちに惚れたかわからない

クラリスがいいのか？

ウィンクがいいのか？

の、議論は尽きない

要するに、どっちでもいいのだが、

幾何学でしかないのだ

日向坂 46 の、斎藤京子において、

私は、どんなにセンターに置かれても

ザ・ファースト・テイクで

美声を披露しても

ちゃんと、女として、見るができない

バラエティーでの活躍をかじったせいだろう

ミスター・チルドレンの「ニシエヒガシエ」で言えば

知らなきゃ良かったって 思うことばかり

である

バラエティー番組を見ない男

私は、最近、まったくバラエティー番組を見ようとしな

もう、拒否してしまう

年末くらいは、さらっと見ることはあるが、

追うとしても、音楽番組に出てくる

木梨憲武さん、程度である

最近、CDTV ライブ!ライブ!や、ミュージックステーションも、見ない

もう、何かがわずらわしい

ミュージックフェア辺りは、嘘がないので、見ている

落合博満は、真実を語っているのか?

落合博満の話は、やはり、聴き応えがある

つまらないほうも語ろうとはしないし、

しょうがない時は、適当に相槌を打っているだけ

野球についてなら、もっと語りたいたらうし、

聴きたい人も多いたらう

ただ、誰でもそうかもしれないが、

落合の話を、どこまで聴いたら答えに辿り着くのかは

未だにわからない

イチローのほうに答えをくれるのか？ それも、わからない

ラッドウィンプスと共に言えば、正解はないのかもしれない

泣く男と、泣かない男

ゴールデンボンバーの「女々しくて」のPVによれば

「泣いてんじゃね えよ、お前、女かよ」

とある

あの、長渕剛のような男でも、

ひっそり泣くのだ

私は、しょっちゅう泣いている

清原和博の本で言えば

「泣いた」と続く

貴乃花は、泣かない男を目指したそうだ

神は、男は泣くな、と云った

でも、私の涙腺は、裏切って泣く

改めて、神に聴けば、どちらが正しいのか？

答えは簡単

泣かない男のほうがいい

である

なぜなら、泣く男は、

すぐにキレルからだ

我慢できないなら泣いていいなら

我慢できないならキレればいいのか

そういう単純明快な理屈になる

さすれば、泣きやすい男は、どうすればいいか？

泣くのを我慢することがいいのはわかっているが、

堤防を越える理論も神は知っている

でも、キレルとは、やはり、愚かなピエロだ

このパラドックスを乗り越えるには、

2つの方法がある

泣くのを我慢するように意識するか、

今のままで、中途半端に泣いたり、キレたりしながら生きていくか、

だ

まあ、お勧めは、前者。

最高の女はどこにいる？

私の場合、カフェテリアにいる

ガンダーラのように、

遠い場所にいるのかと思って

夜の街を彷徨ったが、

結局は、近くのカフェテリアにいて、

アイスコーヒー420円で会えた

ドンペリニオンである

平野紫耀に、憧れる女性

平野紫耀は、渋谷で、まだ、キンプリの頃、皆が、写真を撮りたがっていた

まあ、ブームでもあるが、

キムタクのように、未永く人気を誇るかもしれない

それにしても、なぜ、あんなに皆が一斉に集まるほど、

人気があるのかというと、

ハンサムだからである

もう少し、横に、強豪を並べたらどうなるかわからないが、

キンプリでは、

男の私から見ても

明らかに、群を抜いていた

ただ、それだけ

暴力が武器な男

ヤクザ、マフィア、アウトサイダー、不良…

この男たちを黙らせるのは、

きっと、

優しい女でも、

キツイ女でも、

前田日明のような男でもなく、

ファイザーのような、

ワクチンを撒くしか方法はない

しからば、

それは、争いを見過ごすのではなく

勇敢に、意見をつきつけるしかないが、

筋が通らない輩もいるので、

ホワイトナイトを連れてくるのが

まあ、無難なやり方になる

こういった輩と、

真向から戦っても、

勝ち目がないし、

ボロボロに殺されるだけだ

そんなやり方も、

憶えておいて損はない

戦争をする男

女は戦争をしない

今は、ロシア — ウクライナ、である

プーチン大統領という1つの人格が、

この戦争を指示したかは

ここでは、わからないので省くが、

神の視点で言えば、

神が、プーチンに、戦争を指示することはない

だから、人格の中に神が入ったとは、

考えにくい

ならば、神の対立する

サタンの存在もあり得るが、

その可能性も、

神から言えば、まずない

よって、人類が神という視点で言えば、

神が起こすべくして起こしたという見方もできる

それは、私の、他者を見る目という段階に入るので

言い方は悪いが、

ほうっておくしか方法はない

あとは、NATO が動くから、

それで、いい

格闘技を愛する女性

ロンダ・ラウジーにしても、浜崎朱加にしても、阿部詩にしても…

戦う女性はいる

でも、皆、女の顔は忘れない

男の暑苦しい試合に比べて

女の試合は涼しい

サムライが、剣を抜く時

おにぎりを作っていたのが、女だが、

時代は変わった

有村架純は、いつまでも女だが

あまり、世間を挑発しないように言えば

見栄は、もう、切らないほうがいい

つまり、アバウトな

格闘技に準ずるのなら

料理を磨いたほうが、ホテルのだ

何を言いたいかというと

女の格闘技というものは

見世物でしかないのだ

だから、男の欲望を満たすという意味においては、

料理のような、ささやかな、愛のほうが嬉しい

もちろん、その女性個人の興味が優先されるのは承知だが

何を基準に考えるかで、

物の見方は変わってくる

とがし、わがままを言っても

私は、戦うのが好きという女もいる

それなら、それは承知で自由にすればいい

ただ、羽衣を手にする女になるかは

わからないとは、言っておこう

ASUKA も、イヨ・スカイも...

ASUKA も、イヨ・スカイも、正直、汚い

それはね、画面を通して見ると、素直に感じる

WWE も、見せ方が上手くないのだろうか？

マジックも、化粧も、汚すぎる

エロスも劣る

技や動きのキレとかで、ごまかすのはやめよう

雑誌社は、そういう点で、騙すだろう

日本人女性を、アメリカ流に染めず、

日本人女性を、日本流で染めたほうが絶対いい

そこのギャップだけは、WWE に通達したいところだ

スターダムにも、一言言えば

絶世の美人が、1人もいない事実と（ZARD、坂井泉水のような）

以前に比べて、ブスとデブが増えたという印象である

スターライト・キッドの素顔は知らないが、

あとは、なつぽい、

が、唯一、綺麗といったところだろう

NiziU への提言

ニジューにとって、

音楽は何かというと

飾りである

本来性を失っている

歌手は、歌を聴かせないといけないのに

ファッションのほうへ走る

そんな音楽は、響かないし、つまらない

黒柳徹子と共に言えば、

物凄い努力はしているだろう

しかし、その努力は、

反発して、

逆側のほうへ行っている

アイテムでは、駄目なのだ

辛口の評論家ならこう言うはずだ

響かない！

と、

重厚な、ニジュー、を、

作り上げないと、

終わってしまうだろう

ガリレオの恋

乏しき、ガリレオにとって、

1 ダースの、クレパス しか

ねだるものはなかった

そういう、ささいなことも

愛であり、恋の欠片である

フリーガンという凶器の沙汰

フリーガンの熱は、危ない

人を平気で殺す

浦和レッズにとっても、

鹿島アントラーズにとっても、

そういうことは、

紙一重である

人が真剣に応援するとは、

このような姿勢だが、

そういうことに無知な人にとっては、

脅威でしかない

ブラウンの瞳に映るのは

いつでももぎたてのベジタブル

である

だからこそ、

神の声を聴いて、

慎重に行動したほうがいい

無駄死に をしないようにね

カフェテリアの騒動

魅力的な女性とは

1人ではない

だからこそ、

まだまだ、

様子を見て行かないといけない

ジュゲム博士の見識によると

可能性のある女は

まだまだ、たくさんいる

ただ、出会いとは

ある一定の場所でしかないから

渋谷や、銀座で、すれ違った女性が

恋人になるわけではない

よって、

この恋は、順当なのである

女の気をひく男

それは、まぎれもなく

スマホをいじる男でもない

いかんせん

実直で

真面目な男

そんな男とは、

私のほかには

あまりいないが、

それこそが、

文明の利器を超越した男

つまり、原始時代の男であり

文化を逸脱した姿勢である

だから、

アイスコーヒーを飲んで

時には、プリンでも頼んで

すべてを、味わおうではないか

それが、神の姿勢である

稼ぐ男

稼げる男は強い

一方で、稼げない男は弱い

単純なことだが、

これを、逸脱する方法は簡単

神に、委ねればいい

失業中の身であっても

例え、

今、好きな子に、フラれ ようと

また、同じようなサイクルで挑めば

金はあるのだから

話は違う

それが、自由を得た愛であり

太刀打ちできない

それが、病気持ちであろうと

関係ない

女は、男がお金持ちであることは

とても、重大なことだから、

お金がないことは

何もない

アバウトに愛するしかできないこともあるが、

最後に冠を被っているのは自分だと、わかっているのなら

もう、怖いものはない

ブランカの涙

父、ユーフラテスの、死を待つ間

ブランカは

心に決めた

愛を

愛で

終わらせてたまるか、と

無謀ではあるが、

自分の命を

絶つ、

フィナーレを

迎えた

ブランカの愛とは、

決 して

ほんとうの愛ではないが

もう、限界だった

みさきの愛

野球部のマネージャー

みさき、にとって

野球部員とは、

愛であった

ファールブルの愛

ファールブル昆虫記において

もつとも、

重大な愛は

虫の命が

実は、

それほど、

たいしたものではないという

人間の誤りを正したことだ

それでも、人間は

平気で蚊を殺すが

いかんせん、

狙いが違うため、

ボスニックに

言い訳をした

もう、

この話に

意味もないが、

蚊とは

生き物でもあるが、

とても、

愚かな生き物でもある為、

殺される為に

生まれてきたと

ジュゲム博士も

言っていた

コンドームのない愛

子供を産まない為には

コンドームは、欠かせない

ピルなどもあるが、

たった0.05ミリ 合成ゴムの隔たりを
その日 君は嫌がった 僕は それに応じる

ミスター・チルドレンの「隔たり」である

女同士の愛

エルトン・ジョンのような

男性同士の愛は、美しいが

綺麗な女性の

女同士の愛も美しい

身体をさらす時

イチジクのような

愛らしい少女の顔は

もう、

破滅へと向かわせる

リードを取る女と

従う女

こういう関係の時、

男が惚れるのは

従う女だ

断じて女性同士の愛は

無限に美しいとしか言えない

パウエルの愛

街を歩く、

黒人のパウエルには、

私同様、

連れの彼女がいない

パウエルの表情には

優しさがあるが、

まだ、差別を怖がっている目をしている

なぜ、日本にいるのかは、わからないが

勇気を持って言えば

パウエルは

アメリカで生きたほうが似合う

差別がない国だからだ

日本人のような差別の意味だ

コーラス隊は歌う

愛があれば大丈夫

本質は違うが

言ってることは正しい

神、ゼウスの言葉では

モウリタニアの

愛を

ばらまけば、

すべての人間が幸せになる

とまで、語る

つまり、

人間とは、

それでいて、

幸せなのだ

生きている

それは、

幸せなのだ

茨の恋

カフェテリアのあの子は、かわいいが、実は、何を考えているか、わからない

私を、独占したいのかもしれない

きっかけは、

プリンかもしれない

もう、わけのわからない幾何学の中で

やっぱり、

何がきっかけかは、わからない

ヒュルリーラ、ヒュルリーラ

花びら舞い散る 記憶舞い戻る

である

恋人がいないとられない女

ネネにとって、

恋人がいないことは、

許されないことだった

たぶん、恋をしても

すぐに、次の恋に移る

ゲオルギウスによると

恋のない人間には

ゆとりはない、

とまで、云ったが

この意味は、

ゲオルギウスの恋が、

大人だったからだけである

恋人がいないと、

自分を保てない人間とは、

まだ、幼稚と言える

スペイン風邪とコロナの愛

スペイン風邪における

いくらの証言を得ても

コロナとの決定的な違いは

浄土を

お互いに得れなかったことに起因する

パンデミックと一言で言っても

キスも駄目、握手も駄目、会話も駄目

となっては、

人間らしさを失くす

こうして平和になれば

なんとでも言えるが

人間の痛みとは

本来系を失くすことを

擁護する輩に

逆らえない

己の弱さを

嘔みしめることであった

胸の大きな女

ひめか、のように、

胸の大きな女性とは、

それだけで、

男の視線を釘づけにする

顔もかわいければ、尚更

男は、突然、

胸のデカイ女に出会うと

ビックリする

ああ、この子は、優しいかもしれない

ああ、この子なら、俺を赦してくれるかもしれない

と、錯覚する

その子が、馬鹿だと、尚のこと、かわいい

大黒摩季と、共に言えば

選ばれるのは ah 結局

何も出来ないお嬢様

である

それでも、ジュリアを選ばないといけない理由

スターダムにおいて、ジュリアは人気がない

自分を持っているからである

男は、逞しくなる為には、

このような女性を選ばないといけない

しかし、一向にして、

ジュリアを選ぶ、度胸のある男は現れない

さすれば、男はいったいどっちの女を選べばいいのか？

それは、神に委ねる手段もあるが、

もう、この際、ジュリアを選ぶ生き方を

諦めるという方法もある

それでも、ジュリアを選ぶとき、

心のどこかに偽りを覚えるだろう

このパラドックスの答えは、

もう、無理をしないことだ

ジュリアには悪いが、

ジュリアを諦めさせてもらうしかない

そして、なつぽい、なりに向かう時にも

偽りの自分と出逢うが

最終的には、すべてを捨てて、

白紙からの選択をするのがいい

ヤットである

強い愛と、弱い愛

愛に、強さなどないとは

言わせない

愛という筒の中では

同色にすぎないが、

アブラカタブラ

念じるとは、

恐ろしい力を持っている

それが、本物であればあるほど

それは、強烈な力となる

一方で、弱い愛とは、

すぐに、諦めてしまうものではなくて

一向に、根差さない愛である

人は、結婚したいと言う

ブスであろうが、結婚したい気持ちが強ければ

おうおうにして叶う

神も、そのブスの歯車を押すからだ

美人であっても

結婚をしたいと思いつつ

弱いと

叶わない

そんなこと思い続けていたら

疲れちゃいますよ、である

愛とは、神の分身である

よって、神と念じていればいいが、

これも、長続きしない

結果を欲しがってしまう

まあ、結婚は、正直、神から言えば

どっちでもいいことであるが、

愛の強さとは

その人が、

そのモードに

没入できるかどうかの

塩梅なので

狙ってできる問題でもない

とでも、書いておこう

それなら、楽なはずだ

一目惚れとは？

一目惚れとは、簡単に言うと、

吸い込まれることだ

己の空洞を埋めるべく

優しい言葉をかける男ではなく

ガシャーン！

と、入る男だろう

機械的に言えば

キテレツな世界であるが

要は、

もう、その人ではいられなくなる

という状態であり

たいていは、

遅しくない女は

遠くから憧れて

終わるだけである

松田聖子のような

逞しい女だけが

そういう男を

獲得できるのだ

キエフの大時計

キエフに住む、住人にとって

もっとも厄介なのは、

大時計が

動かなくなることであった

怪盗とは？

イチローと共に言えば、

怪盗とは、

奪い去ることである

カフェテリアの女性を

誰にも気づかれないまま

奪い去ったら

怪盗である

バックナンバーのように

バイクに乗せて、

連れ去ってしまえばいい

これが、女が一番喜ぶ手口だ

ぶしつけだが、愛だの恋だのと、

語ったところで、

何か得られるわけでもない

ところが、

人間の本能では、

狩つまり、仕事よりも、大切なことは、

愛である

ビートルズの、愛こそはすべて

には、

神こそはすべて

と意味している

アントニオ猪木は、

人は歩みを止めた時に、そして挑戦を諦めた時に年老いていくのだと思います。

と云った

私は、

人は、すべてを諦めた時に、答えに辿り着くのだと思う。

ただ、あえて、まだ若い私は、諦めて、屍のように生きようとは思わない

勇者として、金を稼ぎ

勇者として、恋をして

そんなパラドックスの中で

やがて、歳老いて死んでいくのかもしれない

最後に詩人、ポールの言葉を据えよう

ゆとりのないところに花は咲かない

闇雲に、ぶつかっていくことだけが、人生じゃない

困った時は、その場から、神に尋ねてごらん

きっと、答えを提示してくれるから

恋の魔法とは、シークレット・オブ・マイ・ハートである

「完」